**第45回学会大会のお知らせ**

本年度も、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター（以下、社研と略す。）を会場とし、対面を基本としながらも、オンラインを併用したハイフレックス方式で実施する予定です。

**1　趣旨**

学会及び学会員の研究の成果を公表するとともに、各地域の生涯学習活動とその支援にかかわる諸課題について学会員、生涯学習の実践者、行政職員がともに考え解決の糸口を探る。特に、研究者と実践者、行政職員等が、実践事例を共有し、課題解決をめぐって対話することを通して実践と研究の質的向上を図る。

**2 期日** 2024 年11 月30 日、（土）、12月1日（日）

**3　会場** 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

〒110–0007 東京都台東区上野公園12–43 TEL 03–3823–0241

〔情報交換会〕未定　詳しくは大会プログラムにてお知らせします。

**4　日程概要**　　 ※ 詳細については、大会前にお送りするプログラムで必ずご確認ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 大会1 日目 11 月30 日（土） | 大会2 日目 12 月1 日（日） |
| 9：30～10：15　評議員会 | 9:00～ 受付 |
| 10：25～11：00 全国理事会 | 9:30～10：00 総会 |
| 10：30～ 受付 | 10:１０～12：10 研究発表（生涯学習実践事例研究） |
| 11：15～12：15 研究発表（展示発表）12：15～13：15 休憩・移動 | 12:１０～１３：００ 休憩・移動12：20～12：50　新理事会 |
| 13：15～13：25 開会式 | １３：００～15：00 研究発表（自由研究２） |
| 13：30～15：30 生涯学習政策研究フォーラム | 15：10～15：20 会長賞表彰式 |
| 15：45～17：25 研究発表（自由研究１） | 15：20～15：30 閉会式 |
| 17：45～19：15（未定） 情報交換会 |  |

〇第45 回学会大会 生涯学習政策研究フォーラム

テーマ： 社会の変革は生涯学習に何をもたらすか　～ＧＸ推進による価値の転換と生涯学習〜

 　現在、政策的課題として、GX（グリーントランスフォーメーション）、DX（デジタルトランスフォーメーション）、持続可能性、生物多様性、社会的統合、平和構築などが世界規模で取り組まれています。これらの進展は、社会的に見れば未来に向けて社会全体（仕組み、関係性、価値）の変革を目指すものであり、人に視点を当てれば一人一人の価値観の変容と意識及び行動の変革を求めるものであります。

このフォーラムでは、世界的に多様な分野で展開が見られるGXに焦点を当て、GX推進が生涯学習とその推進にもたらす未来像を考えます。GXは、気候変動対策や脱炭素社会の構築を目指す国家的、かつグローバルな課題（チャレンジ）であり、多くの国でクリーンエネルギー政策や経済成長の戦略として位置付けられています。一方、これは人々には家庭、職場、社会のすべてにおいて環境に価値を置く意識と行動の変容を求めるものであり、これからの社会を担う人材育成を見据えた教育や学習に与える影響は計り知れないものがあります。本フォーラムでは、国内外におけるGX推進と生涯学習に関連する政策、実践、研究を俯瞰し、GX推進と価値の変換に果たす生涯学習の将来像を議論することにします。

〇研究発表について

「自由研究部会」及び「生涯学習実践事例研究部会」での研究発表を行います。優れた研究発表をした会員には「生涯学習研究e事典」への執筆をお願いする予定です。また、『日本生涯教育学会論集』に投稿する場合は、原則として前年の大会で発表することになっております。

（ア） 口頭発表部会

① 自由研究部会 11 月30 日（土）及び12月1日（日）の午後 ※オンラインによる発表可

※ 発表時間は、発表申込み状況により短くなる場合があります。また、申込み件数や発表内容に応じて同じ時間帯に複数の部会を設定いたします。

（個人発表）発表20 分、質疑5 分

（共同発表）発表15 分×口頭発表者数、質疑5 分

② 生涯学習実践事例研究部会 12 月1 日（日）午前

各地の実践事例を報告しあい、相互交流をはかる部会です。行政、民間学習機関、団体等、さまざまなところで行われている実践の当事者による発表を中心に実践研究を深めます。優れた発表には「日本生涯教育学会会長賞」が授与されます。なお、生涯学習実践事例研究部会では、常任理事会および大会実行委員会による推薦により非会員にも発表を認める場合があります。また、発表内容等を考慮して自由研究部会での発表をお願いする場合があります。

（個人発表）発表15 分、質疑10 分

（共同発表）発表15 分×口頭発表者数、質疑10 分

（イ）展示発表部会　11月30日（土）の午前

研究成果を端的にまとめた大判ポスターを掲示するだけでなく、発表者による8分間のプレゼンテーションも行います。口頭発表部会よりも発表時間が短いため一度に多くの発表を聞くことができ、発表者と聴衆との距離が近いため気軽なディスカッションができる等の特徴があります。資料の搬入・搬出は、発表者の責任で行っていただきます。なお、生涯学習実践事例研究部会と同様、展示発表においても常任理事会および大会実行委員会による推薦により非会員にも発表を認める場合があります。

**5　発表申込み期限**

**2024 年9 月1 日（日）**

**※締切日までに受信した申込書のみを受理します。締切日を厳守してください。**

**6　発表申込方法**

研究発表を希望する会員は、学会ホームページより「研究発表申込書」をダウンロードし、 必要事項をご記入のうえ、電子メールに申込書を添付してentry@j-lifelong.org 宛に送信してください。送信後、平日2日間で受信確認メールが届かない場合は、不達の可能性がありますので、再送信をお願いします。なお、「研究発表申込書」は学会ホームページに掲載しています。

なお、研究発表を申し込まれた会員には、追って発表要旨のご執筆をお願いいたします。執筆依頼時にお知らせする締切日までに発表要旨をご提出ください。提出された原稿については、『発表要旨集録』の版下としてそのまま印刷し大会時に配布するとともに、『発表要旨集録』（電子ファイル版）として配信いたします。締切日までに発表要旨が到着しない場合は、発表の資格を失いますのでご注意ください。

**7その他**

研究発表申込者には、個別に大会実行委員会事務局から詳細についてご案内をいたします。

その他お問合せは、confe@j-lifelong.org（第4５回大会実行委員長 白井）までお願いします。